

# 道徳学習指導案

授業者 本間 康一

- 1 日時 平成19年1月17日(水) 5校時(13:30~14:15)
- 2 学年 第4学年(男子9名, 女子9名, 計18名)
- 3 場所 4年教室
- 4 主題名 伝統を受け継ぐ(4-(5) 郷土愛)
- 5 ねらい 郷土の人々の行事にかける思いやねがいを知り, 郷土の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。
- 6 資料名 祭りだいこ(学研「みんなのどうとく」より一部改作)

## 7 主題設定の理由

### ○主題観

子どもたちは、両親によって育てられるだけでなく、地域の人々とのかかわりや地域の教育力によって育てられている面も大きい。祭りなどの地域の行事に参加することは、地域の一員であることを自覚する格好の体験活動となる。また、同時にこうした地域の行事は、地域の人々の思いやねがい、伝統を大切にしていこうとする思いを感じることのできる場でもある。地域の人々の思いにふれ、地域の人々と積極的に関わっていこうとするを通し、郷土を誇りに思い、郷土を大切にしていこうとする心が育ち、文化や伝統を受け継いでいこうとする意欲を高めていきたい。

### ○児童観

本学級の児童は、活動的な児童が多く、クラスや学校内の役割をすすんで取り組む姿が見られる。また、「ふれあいサロン」「ふれあいの会」などの地域のお年寄りとおふれあう機会、発表会や運動会への招待、地域参観日などの行事を中心に地域の方とのかかわりも持ってきている。そのため、地域の行事にも参加する児童も多く、先週、開催された「とんど」にも、13名の児童が参加している。4年生から役がある秋祭りには、頂載(ちょうさい:人が乗る大みこし)に乗る「太鼓打ち」に男子4名が、また、「巫女舞」に女子4名がすすんで取り組んだ。その他の児童も、選にもれたものの「おはやし」に立候補した者もいる。しかし、積極的に取り組んではいるものの、お祭りに関わろうとする理由が、「係の人からおこづかいがもらえるから」「目立って楽しそうだから」という児童が大半である。「地域の伝統を引き継いでいきたい」「地域の人に喜んでもらいたい」という思いにまでは高まっているとはいえない。そこで、個人としての楽しみとしての「祭り」の捉え方だけでなく、地域の一員として「祭り」に関わっていこうとする思いを深めさせることが必要である。

### ○指導観

本資料は、主人公の良子の姿を通して、練習に関わる地域の方の姿や祭りに訪れた村の人々の喜ぶ姿にふれることで、地域の祭りを誇りに思い、伝統を受け継ごうと変わっていく姿が描かれている。しかし、4年生の実態では、練習に関わってくれる地域の人々の思いの深さや伝統を受け継いでもらいたいという思いまでは感じとる事が難しいと考えられる。そこで、地域で長年、祭りのお世話を続けてこられた大島さんをゲストティーチャーとして招き、祭りへの思いを聞かせていただくことで、「おこづかいをもらえる」「目立ちたい」という個としての喜びでしか捉えていなかった自分自身をふり返らせる機会としていきたい。また、主人公の良子の思いを考えることで、地域の人と創り上げる喜び、地域の人に喜んでもらえる喜び、地域を誇りに思う気持ちを育てるきっかけとしていきたい。

## 8 準備物

コンピュータ・コード・場面絵・短冊・ワークシート・締太鼓・山車の絵か写真

9 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点 (支援や評価の観点)
導入	1. 秋祭りの映像を見て、祭りの時の様子を振り返る。	<p>○まず、みんなに映像を見てもらいます。何の映像かな？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小屋浦の秋祭りだ。</li> <li>・友だちが映っているよ。</li> </ul> <p>○祭りで太鼓や巫女舞をした友だちの感想を聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった。</li> <li>・練習が大変だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの写真をスライドショーにしたものを映し、関心を高めしておく。</li> </ul>
展開前段	<p>2. 「祭りだいこ」の前段を聞き良子の気持ちについて話し合う。</p> <p>3. ゲストティーチャーの話聞き、地域の人々の思いに気づく</p>	<p>○父から「良子もおはやしをしないか」とすすめられたとき、良子さんはどんなことを思っただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かっこいいけど…（まよっている）</li> <li>・女の子一人では、はずかしい。</li> <li>・友だちを誘ってみようかな。</li> </ul> <p>○練習中なのに大勢の人が集まってきたり、太鼓のたたき方を教えてくれたりしたとき、良子は、どんな気持ちになっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに多くの人に来てびっくりした。</li> <li>・優しく教えてくれてうれしい。</li> <li>・参加したことをよろこんでもらえてうれしい。</li> <li>・熱心に教えてくれるのでこれならうまくできそう。</li> <li>・祭りを楽しみにしているんだな。</li> </ul> <p>○お祭りのお世話をされている大島さんに、お祭りについての思いを聞いてみましょう。</p> <div data-bbox="459 1285 1082 1352" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ゲストティーチャーの大島さんのお話</p> </div> <p>○お祭りの当日、山車の上から、祭りに集まった人たちの楽しそうな顔を見て、良子はどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喜んでもらえてうれしい。</li> <li>・太鼓の役をやってよかったな。</li> <li>・来年もやりたいな。</li> <li>・もっと多くの人に喜んでもらいたい。</li> <li>・この村にいてよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山車」や「太鼓」について簡単に説明しておく。</li> <li>☆良子のこころの迷いを感じることができたか。</li> <li>・文章を読みながら、キーワードの短冊を黒板に貼っていく。</li> <li>・この段階では、まだ地域の人々の思いにまで考えが深まっていなくても追求しない。</li> <li>・「地域を大事に思ってもらいたい。」「伝統を受け継いでほしい」「多くの人に喜んでもらいたい」という気持ちを伝えてもらう。</li> <li>・後段の中から良子の気持ちが表れている部分を抜いて伝える。</li> <li>・ワークシートを使い、良子の思いを書くことで自分自身の思いを表現させる。</li> <li>☆自分の楽しさだけでなく、地域の人々の思いを受け止めたり、喜んでもらいたいと感じたりする内容になっているか。</li> </ul>
終末	5. 自分たちの地域の祭りや行事について振り返る。	○秋祭りだけでなく、地域の行事を紹介する。	・ゲストティーチャーにも感想を求める。

1.0 授業設計の焦点

ゲストティーチャーの話聞く活動を組み入れることによって、子どもたちの祭りに参加する思いが、個としての楽しみから、地域の人や郷土の伝統を受け継ぐ事を意識した思いに変わることができたか。